アカデミック・スキル1 (May 28/29) 練習問題

学籍番号 : **S | 30004 |**

氏名:松下校

下記サイトを参考に演習問題に取り組んでください。

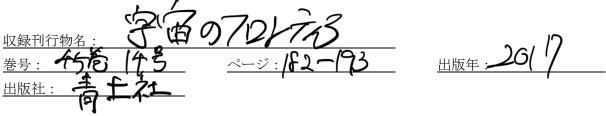
- ・会津大学情報センター附属図書館(以下、「本学図書館」という)ホームページ (学外向け) https://www.u-aizu.ac.jp/intro/facilities/library/
 (学内向け) https://web-int.u-aizu.ac.jp/official/organization/library/orli_j.html
- ・OPAC PCサイト https://libopsv.u-aizu.ac.jp/
- ・スマホ版 OPAC http://osirabe.net/opac.u-aizu/
- 1. 下記の参考文献について、該当する項目を○で囲んでください。
 - [79] 小川哲司, 塩田さやか, 「i-vector を用いた話者認識」, 日本音響学会誌, vol. 70, no. 6, pp. 332-339 (2013).
 - [80] 河原達也 (編著), 情報処理学会 (編), 『音声認識システム 改訂 2 版』 (IT Text), オーム社 (2016).
 - [81] 北研二 (著), 辻井潤一 (編), 『確率的言語モデル』, 東京大学出版会 (1999).
 - [82] 佐藤大和, 「男女声の声質情報を決める要素」, 電気通信研究所研究実 用化報告, vol. 24, no. 5, pp. 977-993 (1975).
 - [83] 鈴木大慈,『確率的最適化』(機械学習プロフェッショナルシリーズ), 講談社 (2015).
 - (注) 問題とした参考文献は、篠田浩一著『音声認識』講談社 (2017) p.159 に掲載のものです。

No.	文献の種類	本学図書館での所蔵の有無 図書で有の場合は()に請求記号を記入すること	
[79]	図書・雑誌論文	無· 有 (請求記号:)
[80]	図書・雑誌論文	無 · (請求記号: 0 o 7、 1 / k)
[81]	図書雑誌論文	無 (請求記号: 47/K)
[82]	図書・維誌論文	無 · 有 (請求記号:)
[83]	図書)雑誌論文	無 · (請求記号: 417/S)

2. CiNii Articles (http://ci.nii.ac.jp/) を使い、自分の好きな検索語で検索し、被引用件数が一番多かった雑誌論文について、記入してください。

[補足]OPAC PC サイト「学科毎・分野毎のリンク集」「日本の論文を探す」から CiNii Articles に アクセスできます。

3. CiNii Articles を使い、寺薗淳也先生の論文「宇宙資源探査の現状と課題 世界はいま、天からの恵みに目を向けている」が収録されている刊行物について、下記の項目を記入してください。



4. 上記3の論文の入手方法として、最適な項目を○で囲んでください。 入手方法の優先順位は、WEB(電子データを利用する)>本学図書館(所蔵資料を利用する)>ILL (他大学図書館から取り寄せる)とします。



5. CiNii Books (https://ci.nii.ac.jp/books) を使い、『オンラインジャッジではじめる C/C++プログラミング入門』(マイナビ) という図書の下記の項目を記入してください。



6. 上記5の図書について、本学図書館での所在及び請求記号を記入してください。

7. 学術雑誌 Science に掲載され	れた下記論文について、イ	ンターネットで掲載巻号を調べ、記入し	てくだ
さい。また、その巻号が本学	図書館で所蔵されているか	どうか、該当する項目に○を付けてくた	ごさい。
M. Arakawa et al., "An art	cificial impact on the ast	eroid 162173 Ryugu formed a crater	in the
gravity-dominated regime",			
Vol.: 368 1	Issue: 6486	所蔵の有無: 有 ・ 無	-
8. OPAC PC サイト「学科領	手・分野毎のリンク集」 に	掲載のオンラインデータベースのうち、	下記の
文献を探す上で、特に有効な	ものを1つ選んで、その	A称を記入してください。	
(1) 数学分野の英語文献	データベース名(ath Scillet)
(2) 日本の博士論文	データベース名 (C	ath Scillet Vii Dissertations)
9. ACM Digital Library (htt	ps://dl.acm.org/)を使い、	2019 年以降に発表された本学教員の論	文(共
著も可)を探して、その論文性	情報を下記に記入してくた	こさい。(ヒント:「"University of Aizu"」	で検索
後、結果一覧を最新順にソー	トします。)		
[補足]			
・OPAC PC サイト「学科	毎・分野毎のリンク集」	英語の論文を探す」から ACM Digital I	Library
にアクセスできます。			
・ACM Digital Library と	は、ACM(The Associati	on for Computing Machinery)が提供す	る情報
工学分野のフルテキスト	データベースです。通常、	利用は学内限定ですが、コロナ対策とし	て6月
末まで学外からも無料ア	クセスできます。		
著者名:			
論文名:			
収録刊行物名:			
巻号:	ページ:	出版年:	
		けてください。(ヒント:一つとは限りま	(せん。)
(1) 学部学生の多読用図書の1			
A. 5 冊以内・2 週間以内	B. 4 删以内·5 日	間以内 C. 3 冊以内・2 日間以内	
(2) 貸出期間を延長できない	資料はどれですか。		
A. 一般図書	B. 多読用図書	C. 逐次刊行物(雑誌)	
(3) 館内に個人閲覧室は何部原	屋あ りま すか。		
A. 1 部屋	/ B.) 3 部屋	C. 6 部屋	

